

第 2 4 号

出典：皮疹の形・配列からみた 皮膚科学 2002 年 6 月 10 日版
子どもの口囲皮膚炎に、1%及び2%メトロニダゾール単剤外用
剤が有効であった。

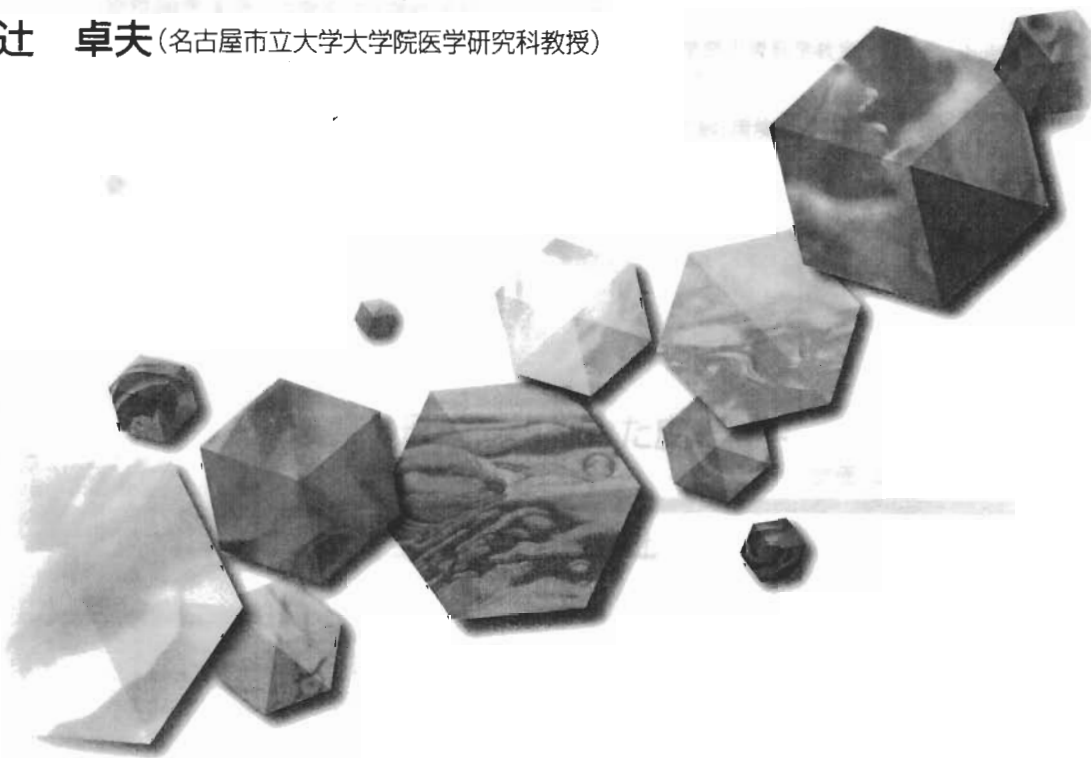
抗炎症作用

資料 72号

皮疹の形・配列からみた 皮膚科学

「カラーアトラスと症例」

著者 辻 卓夫 (名古屋市立大学大学院医学研究科教授)



金原出版株式会社

環状皮疹・環状配列

VI 紅斑（または紅暈）を伴う 丘疹，水疱，膿疱性皮疹類

B 紅斑，膿疱性皮疹群

口囲皮膚炎 (酒皸様皮膚炎)

perioral dermatitis
(rosacea-like dermatitis)

定義

口囲に限局する丘疹，膿疱からなる持続性の紅斑性皮疹で局所療法に反応しにくい。

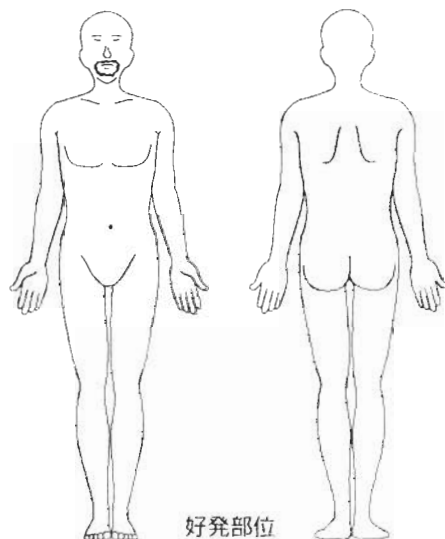
臨床像

- ・好発年齢と男女差：思春期～中年，女性
- ・好発部位：口囲（ただし前額，眼瞼，眉間に波及することあり）
- ・季節との関係：特になし。

自覚症状：癢痒，灼熱感，疼痛

皮疹の特徴

- ①小丘疹，膿疱が鼻唇部より始まり，口唇部境界部をさけてその周囲に広がる。
- ②皮疹は口囲のみにとどまる場合と，前額，眼瞼，眉間などに波及する場合とがある。



③丘疹，膿疱に加えて紅斑，落屑を伴うが，毛細血管拡張は通常生じない。

その他：強い石けん，日光，水との接触により不快感を与えることあり。

鑑別診断

酒皸：顔の潮紅，毛細血管拡張，組織で毛包周囲性の肉芽腫の所見。

脂漏性皮膚炎：鼻唇部にできるが口囲に波及せず，むしろ被髪頭部，耳介，眉毛に生じる。

接触皮膚炎：口唇部の境界部をさけずに生じる。ただし，パッチテストが必要。

尋常性痤瘡：面皰，大きな丘疹，膿疱などがみられ，抗生物質への反応が緩慢。

病理組織

血管および毛包周囲のリンパ球浸潤と軽度の湿疹様変化。

肉芽腫の所見はない。

治療

ステロイドの外用を中止させる。

現在使用の局所につけるもの（化粧品を含む）をしばらく中断させる。

テトラサイクリンの内服を約1ヵ月間行う。

テトラサイクリン外用（1%メトロニダゾールクリームとして，Topics参照）

予後

上記治療によりほとんどの患者は寛解する。しかし，ステロイド外用を続けている場合は年余にわたって症状は持続する。

原因

日光，感染（カンジダ，デモデックス，その他細菌），刺激ないしアレルギー性接触因子などが考えられたが，現在ステロイドの外用が最も重要な原因とされる。



▲A

症例 111



▲B

症例 112

症例 111 口囲皮膚炎 (酒皸様皮膚炎)

37歳, 主婦

数年前より鼻唇溝部より次第に口囲全体に広がる皮疹をきたしている。皮疹出現時より, しばしばステロイド (トプシム®クリーム) 外用を続けていた。

初診時所見: 鼻唇溝を含む口囲全体に紅斑, 丘疹, 膿疱, 痂皮, 落屑性皮疹が混在し集簇してみられ環状を呈している (A)。皮疹部の鱗屑からの真菌は陰性。膿疱部からの培養でも真菌 (白癬, カンジダ) および細菌は検出されなかった。治療としてステロイドの外用を中止させ, ミノマイシン®内服にて経過観察し, 約3ヵ月でほぼ皮疹の消失をみた。

症例 112 口囲皮膚炎 (酒皸様皮膚炎)

35歳, 主婦

約1年前より口囲に紅斑, 丘疹, 膿疱が出現。次第に拡大してきた。これまでしばしばステロイド (フルコート®クリーム, リンデロンV®軟膏など) 外用していた。

初診時所見: 鼻唇溝部より口囲, 下顎部にかけて紅斑, 丘疹, 膿疱が不規則に線状ないし塊状に集簇してみられる。全体として環状を呈している (B)。膿疱部から細菌, 真菌は検出されなかった。治療としてステロイドの外用を中止させ, 一時悪化するもミノマイシン®内服にて約半年で皮疹はほぼ消失した。

tojico

一般に本症は若い女性に好発するが, 子供の発症もときみられる。Boeckらは4~12歳の7人の子供の口囲皮膚炎に, まず外用のステロイドを中止した後1%メトロナゾールを最初の週は毎日1回, 次の週より毎日2回, 以降2%にし外用を続けたところ, 3~6ヵ月で完全治癒したと報告している。

(Boeck, et al : Perioral dermatitis in children; clinical presentation, pathogenesis-related factors and response to topical metronidazole. *Dermatology* 195 : 235-238, 1997)

130
132

著者略歴



辻 卓夫 (つじ・たくお)

昭和38年3月 大阪市立大学医学部卒業

昭和51年3月～52年2月 米国スタンフォード大学医学部皮膚科学教室 Post-doctoral fellow

昭和52年3月～53年10月 米国ペンシルバニア大学医学部皮膚科学教室 Research associate

昭和56年4月 大阪市立大学医学部助教授(皮膚科学)

昭和57年3月～58年2月 米国スタンフォード大学医学部皮膚科学教室 Visiting scholar

平成元年9月 名古屋市立大学医学部教授(皮膚科学)

平成14年4月 名古屋市立大学大学院医学研究科教授(加齢・環境皮膚科学)

● 専門分野

皮膚の老化, 老人性皮膚疾患, 環状紅斑, アトピー性皮膚炎, 各種レーザー治療

皮疹の形・配列からみた皮膚科学 カラーアトラスと症例

定価(本体 19,000 円+税)



2002年6月10日 第1版第1刷発行

著者 辻 卓夫

発行者 川井 弘光

発行所 金原出版株式会社

〒113-8687 東京都文京区湯島2-31-14

電話 編集 03(3811)7162

営業 03(3811)7184

FAX 03(3813)0288

振替 00120-4-151494

<http://www.so-net.ne.jp/medipro/kanehara/>

検印省略

JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

Printed in Japan
ISBN4-307-40034-8

DTP制作:(有)M&Cカンパニー 印刷・製本:三報社印刷株式会社

小社は捺印または貼付紙をもって定価を変更致しません。

乱丁・落丁のものはお買い上げ書店または小社にてお取り換え致します。

ISBN4-307-40034-8

C3047 ¥19000E

定価(本体19,000円+税)



9784307400343



1923047190000

からみた

皮膚科学

皮疹の形・配列からみた皮膚科学

「カラーアトラスと症例」

カラーアトラスと症例

著者 辻 卓夫

